

取扱説明書

ウェルドフィルターユニット

FBM-105(50 Hz) ITEM No.R691063

FBM-106(60 Hz) ITEM No.R691163

FBM-205(50 Hz) ITEM No.R691263

FBM-206(60 Hz) ITEM No.R691363



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

－ はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

－ 使用目的

本製品は、移動や設置が容易な主に溶接ヒュームを吸引・濾過する装置です。車両の排気ガスなどの吸引、水やオイルなどの液材の吸引、多量の水分や油分を含む粉塵の吸引にはご使用できません。また、本製品で捕集することができるのは粉塵などの粒子状物質のみで、ガス成分の浄化は行うことができません。

－ 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

-  - 本製品は防雨型ではありません。故障や感電などの原因となるため、屋外での使用はしないでください。また、屋内でも高温多湿になる密閉された場所を避け、水平で風通しの良い場所で使用してください。
-  - 本製品の不必要な分解や改造は行わないでください。充電部やモーター回転部などに接触し、事故や感電などの原因となります。
-  - 本製品の内蔵フィルターを取り外した状態で使用しないでください。吸引した溶接ヒュームなどが濾過されずに大気中に放出され危険です。
-  - 本製品は防爆仕様ではありません。爆発や引火などの原因となりますので油庫内など可燃性雰囲気中での使用および、引火性や爆発性あるいは発火性物質を吸引しますと、火災または爆発あるいは粉塵爆発を起こします。下記のような粉塵を絶対に吸引しないでください。
 引火性物質 : ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油など
 爆発性物質 : ニトログリセリンなど
 発火性物質 : アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、チタンなどの爆発性金属
 赤リン、黄リンなど
-  - 本製品を使用する際はヒューム発生源から吸引フードまでの距離を十分に取り、溶接時に発生するスパッタ（火花）は絶対に吸引させないでください。
 スパッタを吸引してしまうと、フィルターが延焼し、火災事故に繋がる危険性があります。
 万が一火災事故が発生した際は、製品の電源を OFF にし、安全な場所まで製品を移動させた後、消火活動を行ってください。
-  - 本製品をパレットから降ろす際には必ず二人以上で行い、製品を落としたり転倒させたりしないよう注意してください。
-  - 本製品を移動させる際には車輪のロックを外し、ホース部は持たずに本体のエルゴノミックハンドルを手で押しながらゆっくり行ってください。また、製品移動時にモーターをぶつけないよう十分注意してください。
 フードを持って移動したり、勢いよく移動させたり、モーターをぶつかけたりすると、製品の故障や転倒の原因となります。
-  - 本製品は水平な場所で移動時以外はキャスターをロックして使用してください。車輪のロックをしていなかった場合、本製品が自然に動き出し危険です。
-  - 本製品のアームを伸ばした状態でアームを勢いよく動かすと本製品が転倒し、人身事故や本製品の故障に繋がる可能性があります。本製品のアームを動かす際はゆっくりと動かしてください。
-  - 万が一空気出口から異臭、煙が出たらファンを止め、ダンパーを閉じ、消火口の栓を外し、ハンドルを回してフィルターが延焼していないか確認を行ってください。
 延焼している場合、消火口より消火剤をかけ、消火活動を行ってください。
-  - 故障した場合、必ず当社指定のサービス担当による修理を受けてください。部品交換や修理が適切に行われないと本製品の性能が引き出せないばかりか、火災や再故障、感電による死亡の可能性があります。

注意

-  - 電源コードやホースは強く引っ張らないでください。製品故障や思わぬ事故の原因となります。
-  - 空気出口に指や物を入れたり、顔を近づけないでください。ケガや故障の原因となります。
-  - ウェス、新聞紙、オイルや水分を多く含む粉塵、ガスなどは吸引しないでください。製品の故障や火災の原因となります。
-  - 本製品の空気出口を塞ぐことはやめてください。溶接ヒュームなどが吸引されず、作業者の健康を害する恐れがあります。
-  - 本製品にアームを取り付ける際は手や指を挟まないよう注意して作業を行ってください。
-  - 本製品を移動させる際はキャスターに足やコードを挟まないよう注意して移動してください。
-  - 本製品を使用、保管する際は必ずキャスターのストッパーをかけてください。
-  - 本製品を移動させる際はエルゴノミックハンドルを持ち、モーターをぶつけないように静かに移動させてください。
-  - 溶接作業などの火花が発生する作業で本製品を使用する場合、ホースへの火花侵入による火災を防止するため必ずフードにスパークプロテクションフィルターを取り付けてください。また、スパークプロテクションフィルターはその性能を維持させるため、使用前に必ず清掃してください。
-  - 本製品の配線は電気の有資格者が行ってください。
-  - 電源は必ず電源プラグを付けるなどの絶縁処理をしてから使用してください。絶縁処理を行わずに使用すると感電などの事故に繋がる可能性があります。
-  - 本製品は定期的なメンテナンスを行うことで、その性能を維持することができます。必ず日常点検を実施し、定期的に当社指定のサービス担当によるメンテナンスを受けてください。
-  - 本製品の作動中は騒音が 75 dB に達することがあります。長時間使用する場合は必要に応じて耳栓やイヤーマフなどを着用してください。
-  - フィルターを交換する際やダストボックスからゴミ袋を回収する際は、必ず電源を OFF にし、防護マスクや保護眼鏡などの保護具を着用した状態で交換を行ってください。電源が ON の状態でフィルターの交換を行うと、本製品が不意に作動し、吸引した溶接ヒュームなどが大気中に放出され危険です。
-  - エアによるフィルター洗浄をする場合のエア圧は元圧を 0.7 MPa 以下に調整して行ってください。0.7 MPa 以上のエア圧で使用した場合、フィルターの損傷の原因となります。
-  - フィルターを洗浄する際はハンドル回転方向を確認し、正しい方向に回転させてください。誤った方向に回転させると、フィルターが十分に洗浄できず、早期目詰まりの原因となります。
-  - レバーはフィルター洗浄以外は必ず下げた状態で使用してください。レバーを上げた状態で使用すると延焼時にフィルター延焼部がダストボックス内に落下し、二次災害が発生する可能性があります。
-  - フィルター洗浄をする場合のエアはオイルなどが混入していないドライエアを使用してください。

注意

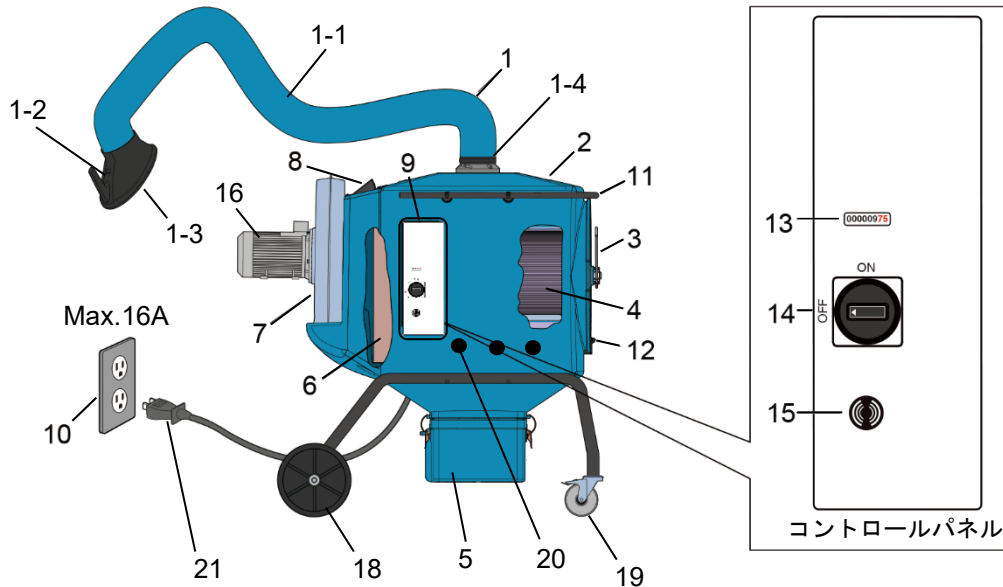
-  - エアによるフィルター洗浄をする場合、フードのダンパーを閉じてから行ってください。
-  - 使用済のフィルターは各自治体の条例などに従って廃棄してください。
-  - 洗浄、交換でフィルターを取り扱う場合、フィルターにキズを付けないよう十分注意してください。万が一、フィルターにキズが付いてしまった場合は新しいフィルターに交換してください。キズが付いたフィルターを使用すると、吸引した溶接ヒュームなどが濾過されずに大気中に放出され危険です。
-  - 本製品のアームを回転させる場合には、周囲に人やぶつかる物がないか確認してから行ってください。
-  - 本製品を初めて使用する際には、必ずファンの羽根の回転方向を確認してください。適切な回転方向でない場合、本製品の性能が十分に発揮されません。
-  - 本製品を使用する場合には必ずフードのダンパーを開いてから使用してください。
-  - 使用前にダストボックスを確認し、使用状況に応じてゴミ袋ごと破棄し、ダストボックス内を清掃してください。ダストボックスにゴミが溜まっていると、フィルター性能の低下やゴミが飛散する原因となります。
-  - ダストボックス用のゴミ袋は必ず純正品を使用してください。純正品以外のゴミ袋を使用すると本製品の性能低下や製品が故障する原因となります。
-  - 1 分間以内に電源スイッチの ON-OFF 繰り返しの操作は行わないでください。ファン故障の原因となります。
-  - 本製品のアームの回転やフードの首振りにはホースを手で支えながらゆっくり行ってください。勢いよく行いますと、ホースの内面がアームに擦れてホースの損傷の原因となります。
-  - ホースバンドは定期的に増し締めを行ってください。ホースバンドの増し締めを行わない場合、製品の性能が低下したり、清掃時にゴミが除去できない可能性があります。
-  - 消火剤を使用する際に「フード」「空気出口」「エルゴノミックハンドル」から消火剤が噴出する可能性があります。使用する際は付近に消火者以外の作業者がいないことを確認してください。
-  - 消火後は必ず内部の清掃を行ってください。清掃後は必ずお買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡いただき、修理を行ってください。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部名称	1
1.2 梱包内容	1
■FBM-10 シリーズ	2
■FBM-20 シリーズ	2
2. 使用前の準備	
2.1 アームとフードの取り付け	6
2.2 配線	8
3. 使用方法	
3.1 メンテナンス	13
3.2 消耗品など	13
3.3 フィルターの洗浄方法	14
3.4 フィルターの交換方法	15
3.5 ダストボックスからのゴミ袋回収方法	18
3.6 トラブルシューティング	19
4. 仕様	20
5. 製品保証登録シート	21
6. 保証規定	22

1. 各部の名称

1.1 各部名称



No.	製品名称	No.	製品名称
1	EX アーム	9	コントロールボックス
1-1	ホース	10	電源
1-2	フード（ダンパー付き）	11	エルゴノミックハンドル
1-3	スパークプロテクションフィルター	12	レバー
1-4	ホースバンド	13	ファン稼働時間積算メーター
2	本体	14	電源スイッチ
3	ハンドル	15	ブザー
4	フィルター	16	モーター
5	ダストボックス	18	キャスター
6	HEPA フィルター	19	キャスター
7	ファン	20	消火口栓
8	空気出口	21	電源プラグ（付属していません）

※No.6 HEPA フィルターはオプション品のため、標準品には付属していません。

1.2 梱包内容

⚠ 警告

!

- 本製品をパレットから降ろす際には必ず二人以上で行い、製品を落としたり転倒させたりしないよう注意してください。

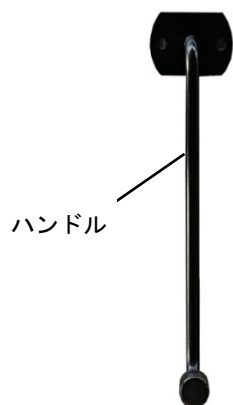
本製品を安全に降ろしてください。

開梱後、ただちに輸送中の損傷がないかおよび付属品の欠品がないか確認してください。

また、締結部および配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増し締めを行ってください。

■FBM-10 シリーズ

梱包内容	
名称	数量
製品本体	1
EX アーム (段ボール内)	1
フード (段ボール内)	1
ハンドル	1
六角レンチ (T 字)	1
取扱説明書 (本書)	1



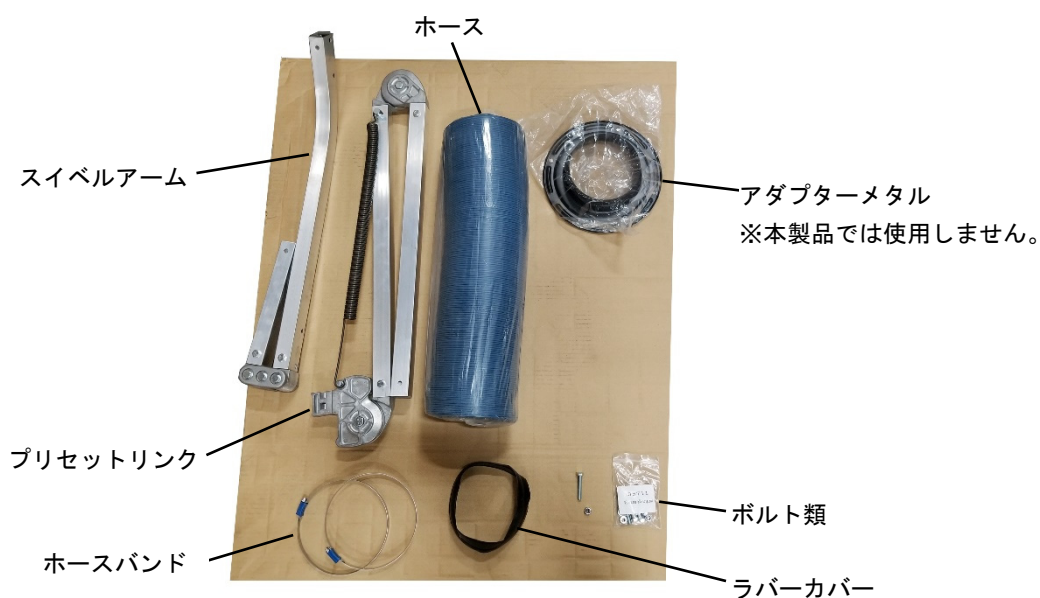
予備部品



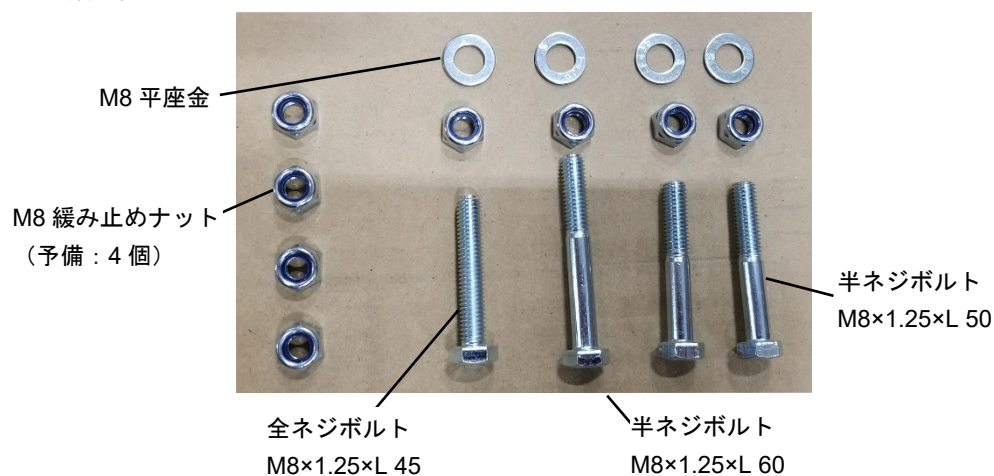
取扱説明書

EX アーム (ダンボール内) 梱包 (1 箱分)	
名称	数量
アダプターメタル	1
ホース (3 m)	1
プリセットリンク (2 m/3 m 用, インナーリンク・ニーリンク・スプリング付き)	1
スイベルアーム	1
ボルト (M8×1.25×L 45)	1
ボルト (M8×1.25×L 50)	2
ボルト (M8×1.25×L 60)	1
ナット (M8×1.25)	8
平座金 (M8)	4
ラバーカバー	1
ホースバンド	2

フード (ダンボール内) 梱包 1 箱分	
名称	数量
フード (フードリンク、スパークプロテクションフィルター付き)	1

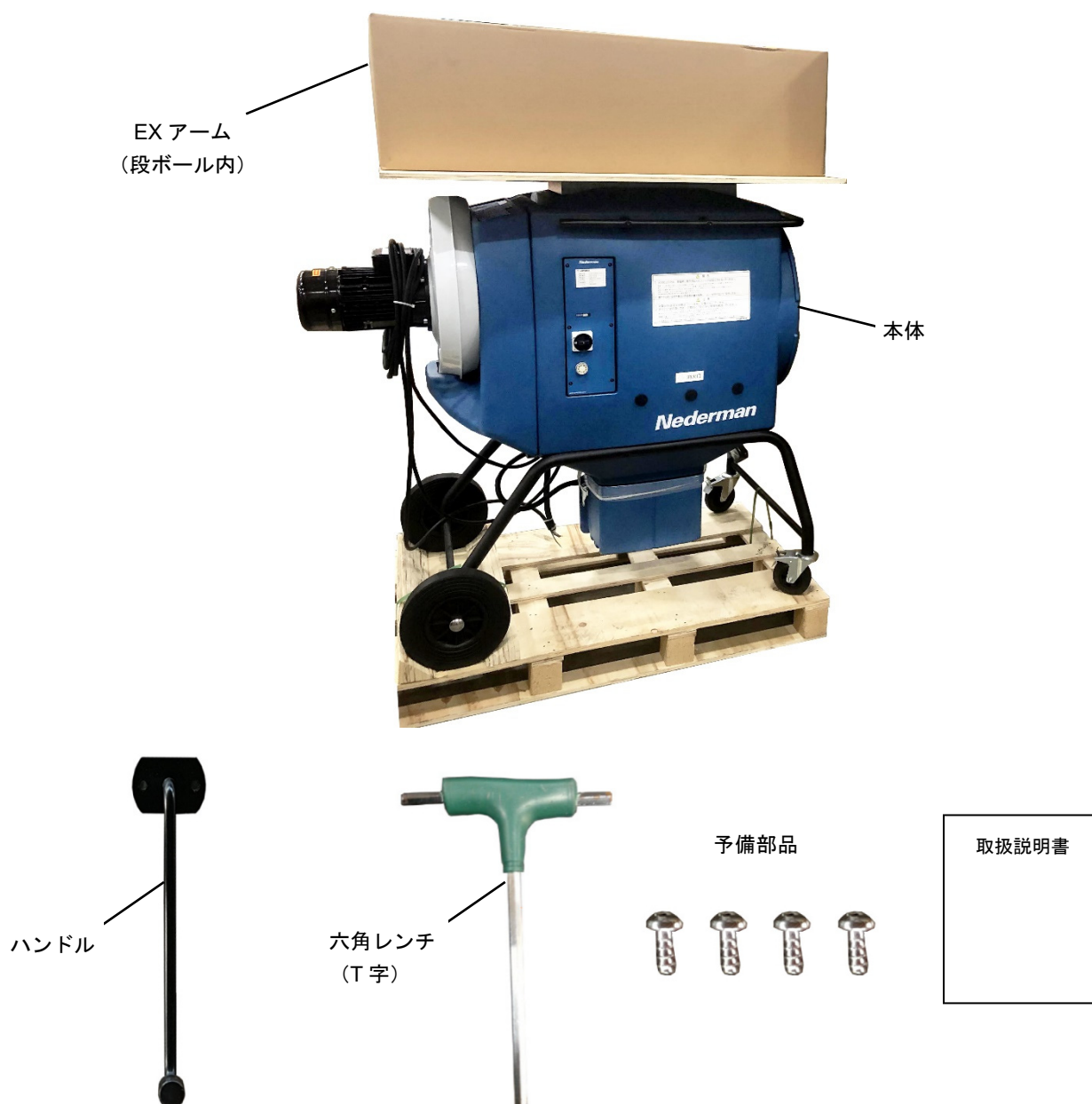


< ボルト類内容 >



■FBM-20 シリーズ

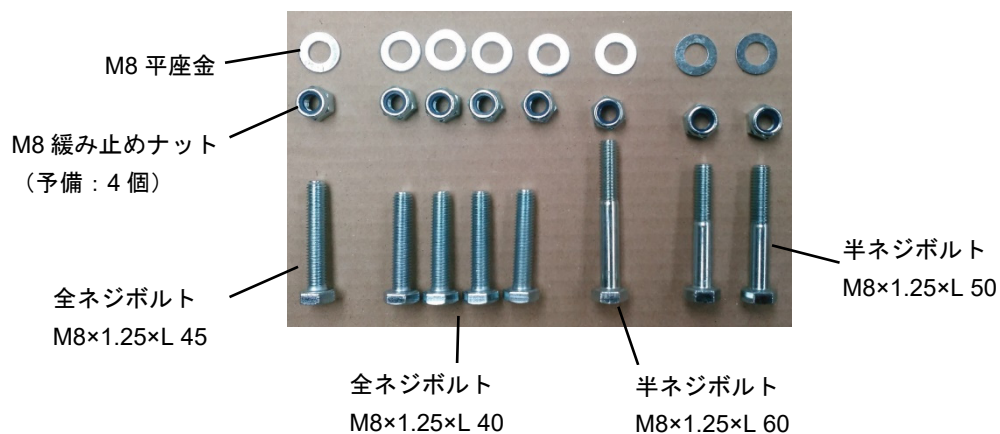
梱包内容	
名称	数量
製品本体	1
EX アーム、フード（段ボール内）	2
ハンドル	1
六角レンチ（T 字）	1
取扱説明書（本書）	1



EX アーム (ダンボール内) 梱包 (1 箱分)	
名称	数量
スイベル	1
アダプターメタル	1
フード (フードリンク、スパークプロテクションフィルター付き)	1
ホース (3 m)	1
プリセットリンク (2 m/3 m 用, インナーリンク・ニーリンク・スプリング付き)	1
スイベルアーム	1
ボルト (M8×1.25×L 40)	4
ボルト (M8×1.25×L 45)	1
ボルト (M8×1.25×L 50)	2
ボルト (M8×1.25×L 60)	1
ナット (M8×1.25)	8
平座金 (M8)	8
ラバーカバー	1
ホースバンド	2
シーリング	1



< ボルト類内容 >



2. 使用前の準備

2.1 アームとフードの取り付け

アームとフードを取り付けてください。

※下記組付手順は一例ですので、任意の順番に変更しても構いません。

ただし、6)フード組み付けは 5)ホースを通してから行ってください。

(下記組立例は FBM-20 シリーズの場合となります。)

- 1) Fig.1 のように本体の上に穴位置を合わせてシーリングを乗せてください。



Fig.1

- 2) 1)で乗せたシーリングの上に Fig.2 のようにスイベルを組み付けてください。

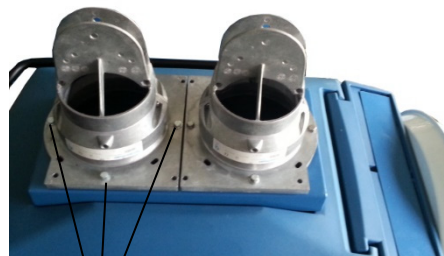


Fig.2

ボルト(M8×1.25×L 40)×8 本
平座金(M8)×8 枚

- 3) 2)で組み付けたスイベルにスイベルアームを取り付けてください。

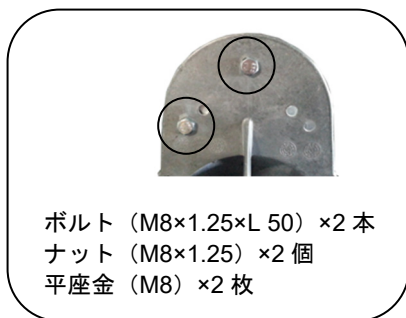


Fig.4

- 4) 3)で取り付けしたスィベルアームの先端にプリセットリンクを取り付けてください。

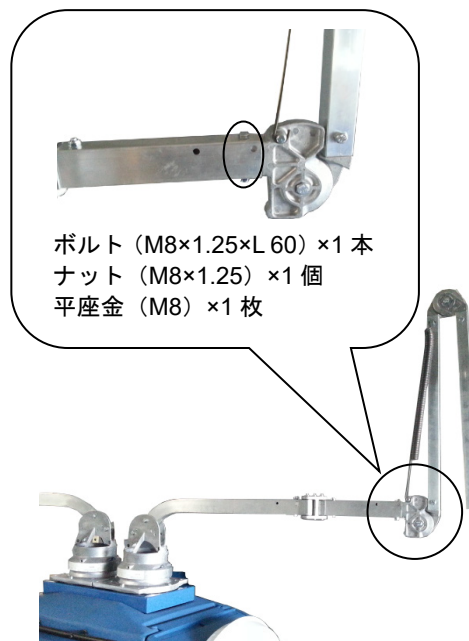


Fig.5

- 5) 4)で組み付けたアームにホースを通してください。

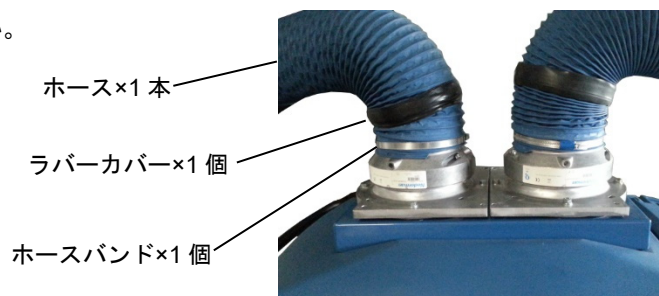


Fig.6

- 6) 以下の順でフードをホースに取り付けてください。

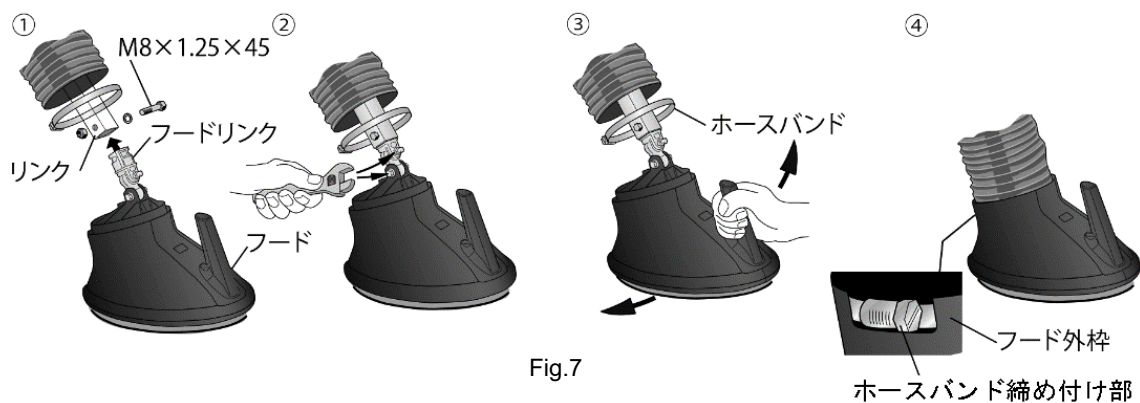


Fig.7

- ① フード上端部のフードリンクの穴とアーム先端のリンクの穴位置を合わせ、ボルトで固定してください。
- ② フードリンクのボルトを調整して位置を固定してください。
- ③ フードのホース接続部は内枠・外枠の間にホースを挟む構造となっています。フードの取っ手を持ち上げ、内枠・外枠の間にホースを挟んで接続してください。
- ④ ホースの上部からフード内枠をホースバンドで締め付けてください。ホースバンド締め付け部は、Fig.7の④で示すようにフード外枠の隙間に入れてください。

2.2 配線

注意



- 電気配線作業は必ず有資格者が行ってください。



- 本製品を初めて使用する際には、必ずファンの羽根の回転方向を確認してください。
適切な回転方向でない場合、本製品の性能が十分に発揮されません。

1) 本製品のラベルをチェックし、供給電源が同じであることを確認してください。

2) 本製品の電源プラグには電源プラグは付属していません。
電源プラグに適合した三相 AC200V の電源プラグを取り付けた後、コンセントに接続してください。

3) コントロールパネルの電源スイッチを ON にしてファンを起動させてください。(Fig.8)

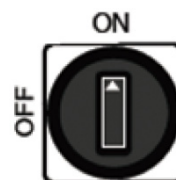


Fig.8

4) およそ 1 分後に電源スイッチを OFF に戻してファンを停止させてください。

5) ファン後方にファンの羽根の適切な回転方向を示す矢印ラベルがありますので、ファンの羽根がその矢印と同じ方向に回転していることを確認してください。矢印と逆方向にファンの羽根が回転している場合は、逆相になっています。(Fig.9)
電気配線作業の有資格者が電源プラグで相を入れ替えてください。

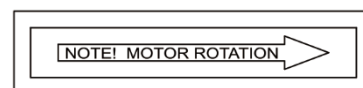


Fig.9

3. 使用方法

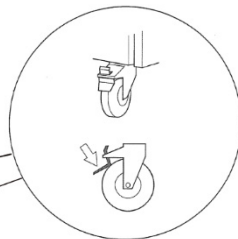
⚠ 警告

-  - 引火性や爆発性あるいは発火性物質を吸引しますと、火災または爆発あるいは粉塵爆発を起こします。下記のような粉塵を絶対に吸引しないでください。
引火性物質：ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油など
爆発性物質：ニトログリセリンなど
発火性物質：アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、チタンなどの爆発性金属
赤リン、黄リンなど
-  - 本製品を使用する際はヒューム発生源から吸引フードまでの距離を十分に取り、溶接時に発生するスパッタ（火花）は絶対に吸引させないでください。
スパッタを吸引してしまうと、フィルターが延焼し、火災事故に繋がる危険性があります。
万が一火災事故が発生した際は、製品の電源を OFF にし、安全な場所まで製品を移動させた後、消火活動を行ってください。
-  - 本製品は水平な場所でキャスターをロックして使用してください。キャスターのロックをしていなかった場合、本製品が自然に動き出し危険です。

⚠ 注意

-  - ウェス、新聞紙、オイルや水分を多く含む粉塵、ガスなどは吸引しないでください。製品の故障や火災の原因となります。
-  - 本製品の空気出口を塞がないでください。溶接ヒュームなどが吸引されず、作業者の健康を害する恐れがあります。
-  - 本製品は溶接ヒュームの吸引・濾過を目的としているためガスの濾過はできません。
-  - 本製品を使用、保管する際は必ずキャスターのストッパーをかけてください。
-  - 溶接作業などの火花が発生する作業で本製品を使用する場合、必ずスパークプロテクションフィルターが付いているか確認を行ってください。スパークプロテクションフィルターが付いていないと、作業で発生した火花を吸い込み火災事故の原因となる可能性があります。
-  - 1 分間以内に電源スイッチの ON-OFF 繰り返しの操作は行わないでください。ファンの故障の原因となります。

- ・ 本製品は屋内で使用してください。屋外での使用はできません。
- ・ 本製品を移動するときは、キャスターのロックを外し、ホース部は持たずに本体のエルゴノミックハンドルを手で押しながら行ってください。使用時は必ずキャスターをロックしてください。



設置時（ロックする）



移動時（ロック外す）

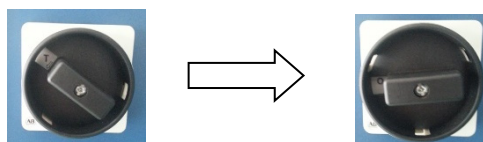
■フィルターが目詰まりするとブザーが鳴ります。

フィルターの目詰まりを知らせるブザーが鳴った場合、またはフード開口部での吸い込みが弱くなったと感じられた場合は「3.3 フィルターの洗浄方法」の項を参照してフィルターを洗浄してください。

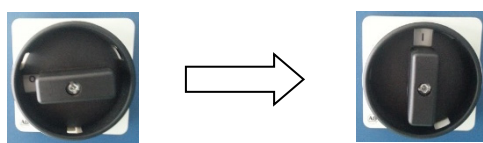
■本製品には過負荷防止装置が内蔵されています。

ファンのモーターに過大な負荷が掛かった場合、本製品が自動的に停止します。過負荷防止装置によって停止した場合、下記操作を行うことで解除できます。

- 1) 過負荷の原因（長時間の運転によるモーターの発熱、フィルターの目詰まり）を取り除いてください。
- 2) スイッチが下記のように斜めになっているため、スイッチを一度 OFF にしてください。



- 3) スイッチを ON にすると製品が起動します。

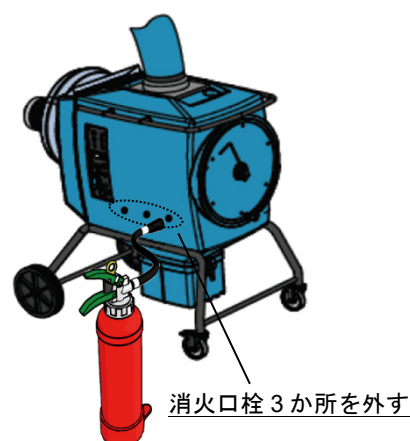


■万が一製品から煙や内部で延焼するような異臭がした場合は下記手順で消火活動を行ってください。

⚠ 注意

- ❗ - 内部で火災が発生した場合、製品が高温になっている可能性があります。消火作業を行う際は、必ず保護用の手袋を着用し、ヤケドをしないよう十分注意してください。
- ❗ - 消火剤を使用する際に「フード」「空気出口」「エルゴノミックハンドル」から消火剤が噴出する可能性があります。使用する際は付近に消火者以外の作業者が居ないように注意してください。
- ❗ - 消火後は必ず内部の清掃を行ってください。清掃後は必ずお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡いただき、修理を行ってください。

- 1) 電源を OFF にする。
- 2) 電源プラグを外す。
- 3) フードのダンパーを閉じる。
- 4) 消火口栓を外す。
- 5) ハンドルを回し、延焼箇所を確認する。
- 6) 消火口より消火剤をかける。
- 7) ダストボックスを外し、延焼したフィルターのカスが落ちていないか確認する。
(ダストボックス内に延焼したフィルターのカスがある場合は、消火活動を行ってください。)
- 8) 延焼がおさまリ、パネルが外せる状態になったら、パネルを外してください。※パネルを外す際にハンドルは外さないでください。
(パネルの外し方は「3.4 フィルターの交換方法」の項を参照してください。)
- 9) パネルをフィルターごと取り外し、フィルターが延焼していないか確認してください。



■使用手順

⚠ 警告



- 本製品のアームを伸ばした状態でアームを勢いよく動かすと本製品が転倒し、人身事故や本製品の故障に繋がる可能性があります。本製品のアームを動かす際はゆっくりと動かしてください。

⚠ 注意



- 本製品の作動中は騒音が 75 dB に達することがあります。長時間使用する場合は必要に応じて耳栓やイヤーマフなどを着用してください。



- 本製品を初めて使用する際には、必ずファンの羽根の回転方向を確認してください。適切な回転方向でない場合、本製品の性能が十分に発揮されません。



- 本製品を使用する場合には必ずフードのダンパーを開いてから使用してください。

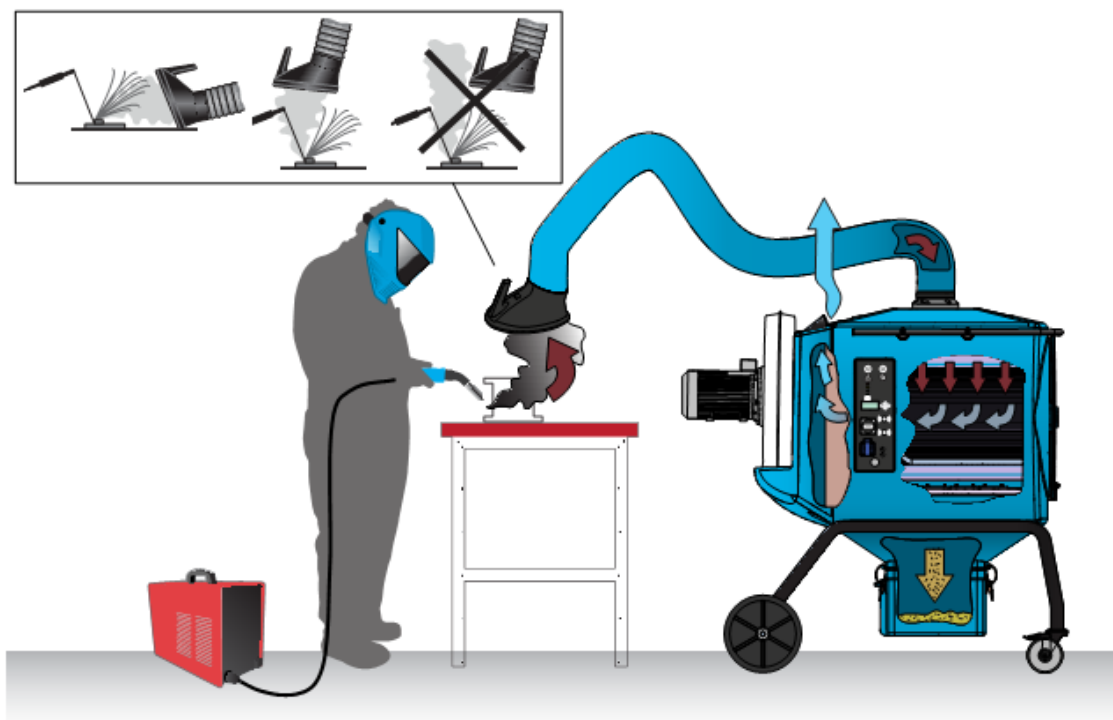


- 1 分間以内に電源スイッチの ON-OFF 繰り返しの操作は行わないでください。ファンの故障の原因となります。

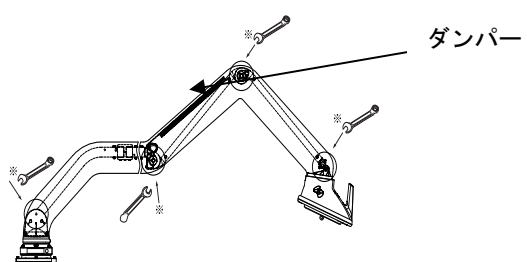
- 1) 製品を使用する位置まで移動させてください。
- 2) キャスターをロックしてください。
- 3) フードを吸い込む対象の位置まで伸ばしてください。
※溶接作業などの火花が発生する作業で本製品を使用する場合、ホースへの火花侵入による火災を防止するため、必ずフードにスパークプロテクションフィルターが付いていることを確認してください。
※下図のように火花を吸引しないようフードの位置を調整し、ヒュームのみを回収できる位置で使用してください。

NOTE：フードを伸ばす際は本製品からフードの位置が半径 2 m 以内での使用を推奨します。

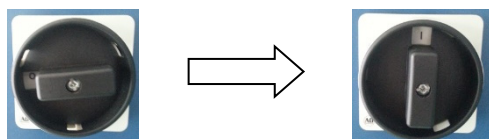
本製品のアームを 2 m 以上伸ばして使用すると本製品が転倒しやすくなりますので、注意してください。



- 4) 本製品のフードのダンパーを開いてください。



- 5) 本製品の電源を ON にして、作業を開始してください。



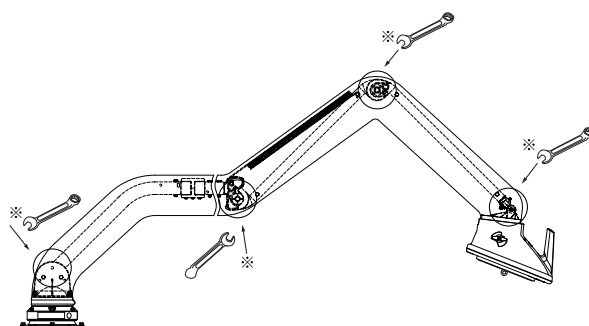
3.1 メンテナンス

⚠ 警告	
!	- メンテナンス時は、ファンを動かす必要がある場合を除き、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意	
!	- メンテナンス中のケガを防止するため、必要に応じて手袋・保護眼鏡・防塵マスクなどを着用してください。

本製品を使用する前に必ず下記の日常点検を実施してください。

点検項目		
点検時期	点検内容	異常時の対応
使用前	吸込量が低下していないか確認してください。	フィルターの洗浄・交換
	ダストボックス内にゴミが溜まっていないか確認してください。	ダストボックス内の清掃
	ホースに切れや劣化がないか確認してください。	ホースの交換
	スパークプロテクションフィルターの清掃を行ってください。	—
	フードのダンパーを操作し、適切に機能しているか確認してください。	フードの交換
使用後	電源コードに損傷がないか確認してください。	サービスを依頼
1 週間ごと	フィルターの洗浄を行ってください。	—
	フィルターに損傷や変形がないか確認してください。	フィルターの交換
必要時	ホースバンドおよび各接続部の増し締めを行ってください。	—
	アームのネジの増し締めを行ってください。（下図※部参照）	—



3.2 消耗品など

■消耗品

部品番号	部品名称	仕 様
R332672	FBM フィルター	ポリエステル製, 表面積=13 m ²
R333026	ホース	φ160, 3 m
R376839	コントロールボックス	FBM-105 用 (50Hz 用)
		FBM-106 用 (60Hz 用)
R376834	コントロールボックス	FBM-205 用 (50Hz 用)
		FBM-206 用 (60Hz 用)
R376618	ビニール袋	10 枚入
R551335	スパークプロテクションフィルター	オリジナルフード用

3.3 フィルターの洗浄方法

フィルターが目詰まりするとブザーが鳴りますので、フィルターの洗浄を行ってください。

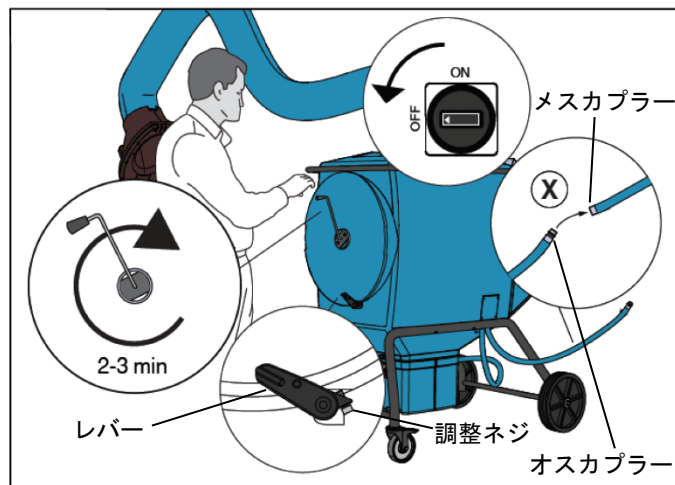
洗浄してもブザーが鳴り続ける場合、またはフード開口部での吸い込みが回復しない場合は「3.4 フィルターの交換方法」の項を参照してフィルターを新しい物に交換してください。

⚠ 注意

- ❗ - フィルターを洗浄する場合、必ず電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にファンが動き出し微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
- ❗ - エアによるフィルター洗浄をする場合のエア圧は元圧を 0.7 MPa 以下に調整して行ってください。0.7 MPa 以上のエア圧で使用した場合、フィルターの損傷の原因となります。
- ❗ - フィルター洗浄をする場合のエアはオイルなどが混入していないドライエアを使用してください。
- ❗ - フィルター洗浄をする場合、防護マスクや保護眼鏡などの保護具を着用してください。
- ❗ - フィルターを洗浄する際はハンドル回転方向を確認し、正しい方向に回転させてください。誤った方向に回転させると、フィルターが十分に洗浄できず、早期目詰まりの原因となります。
- ❗ - フィルター洗浄時以外は必ずレバーを下げた状態で使用してください。レバーを上げた状態で使用すると延焼時にフィルター延焼部がダストボックス内に落下し、二次災害が発生する可能性があります。

<NOTE>

ダストボックスが外れていたり、ビニール袋が確実に取り付けしていない場合、製品の性能が低下する可能性があります。製品の性能が低下している場合は、ダストボックスを確認してください。



- 1) 本製品の電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて本製品への電源を断ってください。
- 2) フードのダンパーを閉じてください。
- 3) エアホース接続口 (X)にメスカプラーを接続して、エアを供給してください。
- 4) レバーを上を上げ、調整ボルトを締め込み、位置決めを行ってください。
- 5) 時計方向にハンドルを 2～3 分間回してください。
- 6) 調整ネジを緩めて、レバーを下げてください。
- 7) メスカプラーを取り外してください。
- 8) フードのダンパーを開けて、電源プラグをコンセントに差し込み、電源を ON にしてください。

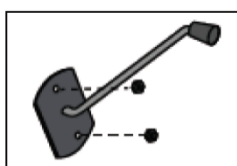
3.4 フィルターの交換方法

注意

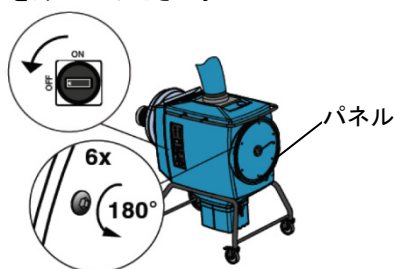
-  - フィルターを交換する場合、必ず電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にファンが動き出し微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
-  - フィルターを交換する場合、防護マスクや保護眼鏡などの保護具を着用してください。
-  - 使用済みのフィルターは各自治体の条例などに従って廃棄してください。

日常点検時に損傷や変形が目視にて確認できる場合や、洗浄してもフード開口部での吸い込みが回復しない場合には下記の手順で新しいフィルターに交換してください。

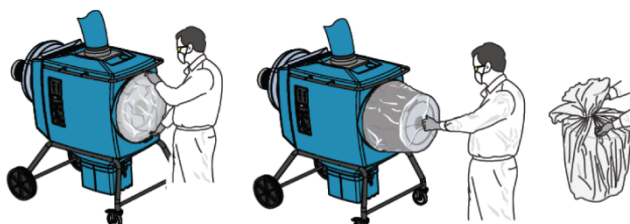
- 1) フィルターが収納できるゴミ袋をあらかじめ用意してください。
- 2) 本製品の電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて本製品への電源を断ってください。
- 3) 約 5 分間待機してください。
- 4) ハンドルを外してください。



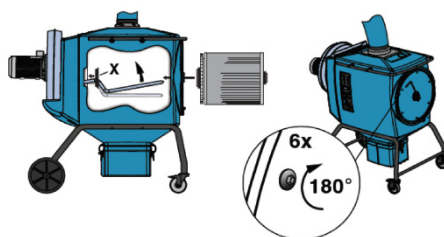
- 5) ネジ 6 か所を 180° 回し、パネルを外してください。
(ネジは外れません。)



- 6) フィルターを取り出して図の手順に従ってゴミ袋に収納してください。



- 7) 内部を布などできれいに清掃してください。
- 8) 新しいフィルターを取り付け、5)で外したパネルを取り付けてください。



- 9) 4)で外したハンドルを取り付けてください。
- 10) 電源プラグをコンセントに差し込み、本製品への電源を投入してください。
- 11) 電源を ON にしてファンを起動させてください。
- 12) フード開口部での吸い込みが回復していることを確認してください。

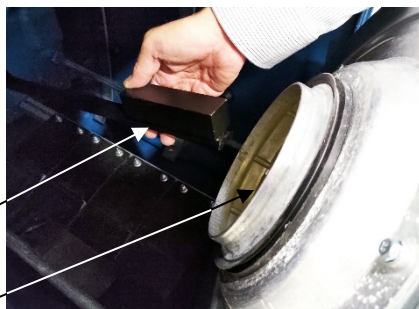
<NOTE>

- ・新しいフィルターを取り付ける際は取り付け部の窪み（8）の図Xを参照）にフィルターの中心を確実にはめてください。確実にハマっていない場合、パネルが取り付けられません。
- ・フィルターを引き出す際に引っ掛かりがある場合はフィルターを強めに引き出してください。（引き出す際にフィルターにキズを付けないよう注意してください。）

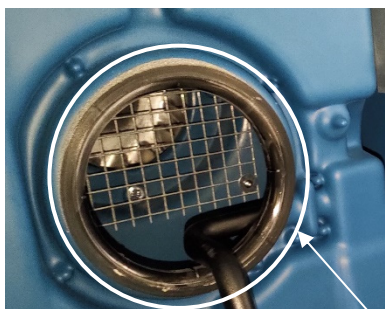
フィルター取り付けの際は下図のようにフィルター洗浄用ノズルを持ち上げながらフィルター穴に通し、フィルターを取り付けてください。

フィルター洗浄用ノズル

フィルター穴



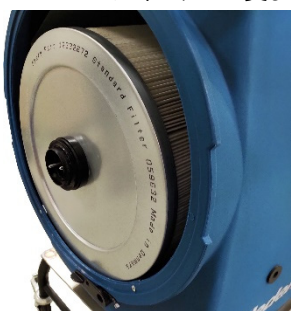
本製品内部の穴にフィルターの凸部分を合わせ、フィルターを奥まで入れてください。（ずれている場合フィルターが奥まで入らず、蓋が閉まりません。）



ここを合わせる

上記穴位置が合っている場合はフィルターが奥まで入ります。

<フィルターが奥まで入っていない場合 (NG)>



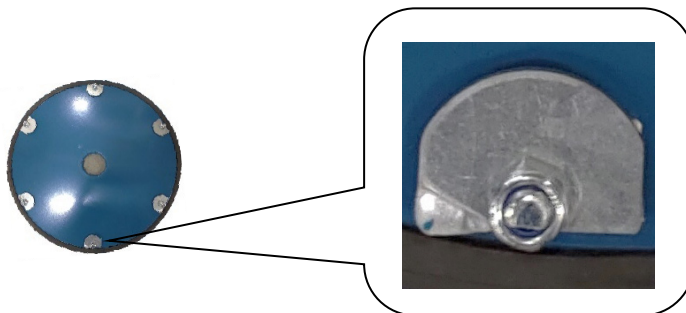
<フィルターが奥まで入っている場合 (OK)>



フィルターが上手くはまらない場合、下図のように軽く手で持ち上げると入りやすくなります。



本製品にパネルを付ける際、パネルの固定プレート(6 か所)が下記の位置に合っているか確認をしてください。
(固定プレートの向きが変わっているとパネル取り付け時に固定プレートが引っ掛かり、パネルが上手く組み付けられません。)



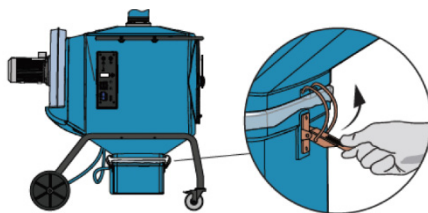
3.5 ダストボックスからのゴミ袋回収方法

⚠ 注意

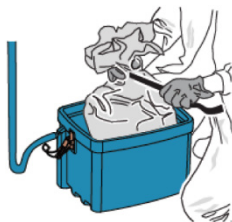
-  - 使用前にダストボックスを確認し、使用状況に応じてゴミをゴミ袋ごと破棄し、ダストボックス内を清掃してください。ダストボックスにゴミが溜まっていますと、フィルター性能の低下やゴミが飛散する原因となります。
-  - ダストボックスからゴミ袋を回収する場合は、必ず電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にファンが動き出し微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
-  - ダストボックスからゴミ袋を回収する場合は、防護マスクや保護眼鏡などの保護具を着用してください。
-  - ダストボックスのゴミ袋を交換する際は、必ず純正品を使用してください。

ダストボックスからゴミ袋を回収する場合は、下記の手順で行ってください。

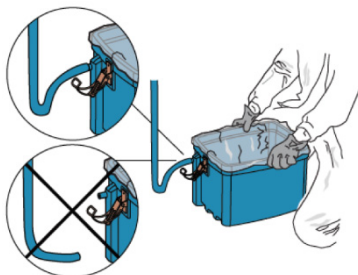
- 1) 電源プラグをコンセントから抜いて本製品への電源を断ってください。
- 2) 約5分間待機してください。
- 3) ダストボックス側面のクリップを外してください。



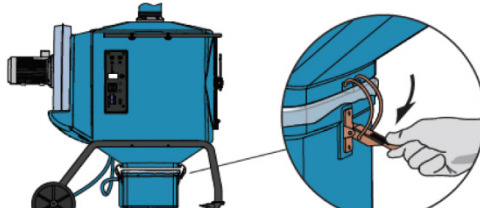
- 4) ダストボックスを外し、ゴミ袋を取り出してください。取り出したゴミ袋はゴミが飛散ないように紐でくくってください。



- 5) 新しいゴミ袋でダストボックス内側全体を覆うように取り付けてください。その際にホースが外れていないか必ず確認してください。

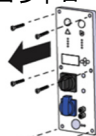
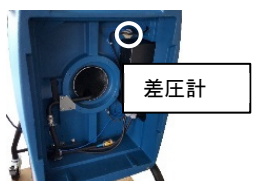


- 6) ダストボックスを製品に取り付け、クリップで固定してください。



- 7) 電源プラグをコンセントに差し込み本製品への電源を投入してください。
- 8) 製品のスイッチを ON にしてファンを起動させてください。

3.6 トラブルシューティング

問題点	原因	対応方法
ヒュームを吸引しない。 吸引力が弱い。	フードのダンパーが閉じている。	フードのダンパーを開いてください。
	フィルターが目詰まりしている。	フィルターを洗浄してください。
	ホースが損傷している。	ホースを交換してください。
	ダストボックスが外れている。	ダストボックスを接続し直してください。
	シーリングがシートできていない。	EX アームを外し、シーリングにキズがないか確認し、組み付け直してください。 キズがある場合はシーリングを交換してください。
	ファンが逆回転している。	電源を切り、モーターの回転方向を確認してください。 モーターの回転方向がラベルの矢印と逆に回転している場合は電源の配線をし直してください。
	消火口のプラグが外れている。	消火口のプラグを付けてください。
	排気口が塞がっている。	排気口を塞いでいる原因を取り除いてください。
	ダストボックスと製品本体を接続するホースが外れているもしくは詰まっている。	ホースの詰まりがないか確認し、詰まりがなければホースを接続してください。
ファンが動かない。	電源が抜けている。	電源を正しく接続してください。
	正しい電圧が供給されていない。	AC200V±10V の電圧か確認を行ってください。
	電源コードが断線している。	サービスを依頼してください。
	モーターが破損している。	モーターを交換してください。
	過負荷防止装置が起動している。	本書 P.10 を参照し、過負荷防止装置を解除してください。
	モーター、ファンに異物が挟まっている。	サービスを依頼してください。
ブザーが鳴らない。 スポットライト（オプション）が点灯しない。 ファン稼働時間積算カウンターが動いていない。	ヒューズが切れている。	切れているヒューズを交換してください。 <交換手順> ① 6 か所のビスを外し、コントロールパネルを開けてください。  ② 下記 2 か所にヒューズが入っているため、切れているヒューズを交換してください。  電圧 : 250 V 電流 : 2.5 A タイプ : 遅断型 サイズ : Φ5.2×L 20  電圧 : 250 V 電流 : 250 mA タイプ : 遅断型 サイズ : Φ6.4×L 30 コントロールパネルの裏 コントロールボックス内
	トランスの故障	サービスを依頼してください。
	差圧計が外れている。	差圧計を付けてください。  差圧計
過負荷防止装置が頻繁に作動する。	冷却時間が不十分。	本製品を 30 分以上停止させてください。
	過負荷防止装置設定値の異常	コントロールボックス内にある過負荷防止装置の値が下記に設定されているか確認してください。 FBM-105 : 4.2A FBM-106 : 4.2A FBM-205 : 8.3A FBM-206 : 9.6A
空気出口から煙が出る。 異臭がする。	フィルターが延焼している。	下記手順で消化活動を行ってください。 ① 電源を OFF にする。 ② 電源コードを外す。 ③ フードのダンパーを閉じる。 ④ 消火口のプラグを外す。 ⑤ ハンドルを回し、延焼箇所を確認する。 ⑥ 消火口より消火剤をかける。 ⑦ ダストボックスを外し、延焼したフィルターのカスが落ちていないか確認する。 （ダストボックス内に延焼したフィルターのカスがある場合は、消火活動を行ってください。） ⑧ 延焼がおさまり、パネルが外せる状態になったら、パネルを外す。 ※パネルを外す際にハンドルは外さないでください。 （パネルの外し方は本書 P.15 を参照してください。） ⑨ パネルをフィルターごとに取り外し、フィルターが延焼していないか確認する。

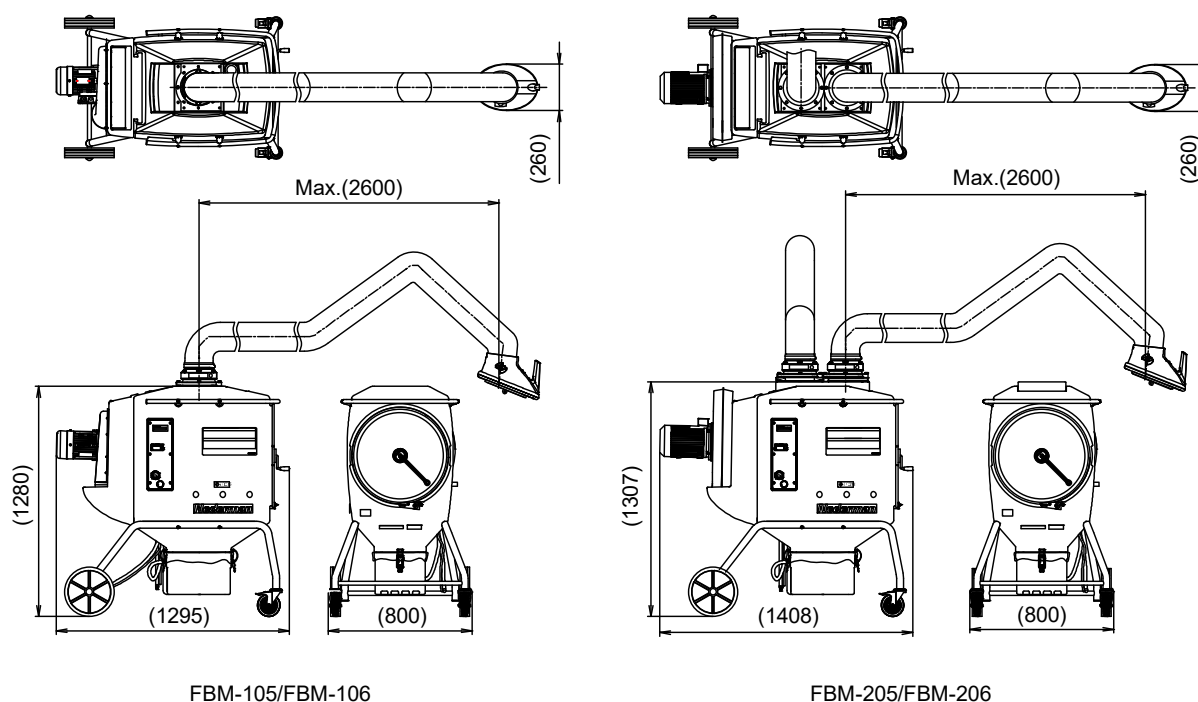
4. 仕様

■仕様

製品名称	ウェルドフィルターユニット			
製品型式	FBM-105	FBM-106	FBM-205	FBM-206
製品番号	R691063	R691163	R691263	R691363
電 源	三相 AC200V			
電源周波数	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
製品推奨使用風量	1000 m³/h		850 m³/h×2	
ファンモーター出力	0.9 kW		2.2 kW	
ファン定格電流値	3.8A		8.7A	
最高吸引温度	60 °C			
FBM フィルター表面積	13 m²			
FBM フィルター濾過率 ※	99 %			
供給圧力(フィルター洗浄用)	0.7 MPa			
質 量	約 102 kg		約 132 kg	
騒 音	66 dB		78 dB	

※メーカー試験による（テスト粉末：石英粉末、平均粒子径：2 μm）

■外観寸法



5. 製品保証登録シート

- ・ お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____ フリガナ ご住所 _____ _____		ご所属 _____ ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																												
■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の個人保護方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

6. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202604.2940 EXT037U